

平城宮跡

宇奈多理坐高魂神社方面

昭和 32 年（1957）4 月上旬

写真撮影：福川美佐男氏

平城宮跡は未だ国史跡ではなく、東側の一部は、田園地になっていて田んぼを耕していた。右背後にあるのが宇奈多理神社の森



NHK 奈良放送局 岡本教授の大和まだある記

～木棺 古代人からのメッセージ～

平成 30 年（2018）7 月 10 日（火）放送

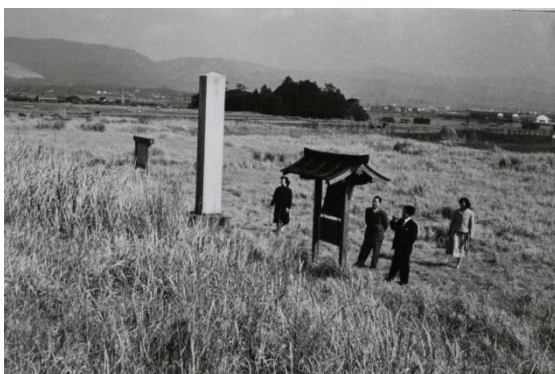
平城宮から京都へ都が移った後は、放置され田畑となり、明治になり調査が始まり、昭和 35 年に奈良国立文化財研究所の本格発掘調査が始まり遺構と共に多数の木棺が発掘された。地下の水泥の中にあつたため保存状態が良かった

昭和 32 年 田畑の時の平城宮跡

（放映された写真）

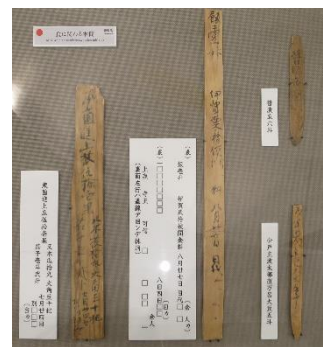


※昭和 32 年 第 2 次大極殿跡付近
撮影：福川美佐男氏



※発掘された木簡

平城宮いざない館蔵



※昭和 39 年平城宮跡発掘現場
撮影：木村守男氏



※写真は放映されていません